

# カハニア



指定障害者支援施設

さやま園  だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!

No.217  
2022.AUG.



# 園長NOTE

例年にない暑い日々が続いています。コロナ感染者も再び増加傾向にあり第7波に入りました。ウクライナの戦争もまだまだ続いています。物価もどんどん上がっています。(7月7日現在)大変な時期ですがみなさまお元気でしょうか？

今年度もネガティブな情勢が続いていますが、さやま園は「ポジティブ思考でいきましょう」を掲げて園長に就任しました三瓶(みかめ)達矢と申します。私は8年ほど副園長を務めてきましたが、今回は立場も変わり目立たぬように利用者さん、ご家族様、地域の方々そして職員を支えていけたらと考えています。

前荒井園長が掲げた園のモットー「笑顔で明るく、元気で楽しく」の言葉を深掘りしていき、自分の言葉に置き換えて利用者さん、職員に伝えていきます。また法人の理念である「笑顔と挨拶と礼儀」にもこだわりのながらより良い職場づくりに貢献したいと考えています。表面的な言葉は伝わらないので、自分の思いを伝え続けていくことで今の活気ある職場の継続につながるように努力していきます。入所施設は利用者さんにもご家族様にもなくてはならない存在です。365日24時間営業ですので職員は不規則勤務で大変です。体調管理に気を付けながら、コロナ対策も頑張っています。

その源がさやま園96名の個性あふれる利用者さんの魅力や笑顔があるからです。だから今いる120名近くの職員は大変だけ頑張れる。大変だから仕事が好きやりがいがある。使命感が持てる。人間的に成長できる。そんな職場です。だからこそ副園長も頑張れるのです。

物事を変えられるのは自分だけです。だから他人を変える時間に費やすよりも自己成長、人間力を高めていきましょうというのが基本的な考え方です。それが一気に叶う職場ですよ。だから利用者さんも職員も幸せになれる。豊かな生活を過ごすことが出来ると思っています。

ただし私もネガティブな面が多々ありますし、みんなもそうかと思っています。人間ですからね。さやま園では利用者さんと職員の間同士のふれあいがあるからこそ感情が揺れ動くのは当たり前。でも最終的に良い方向へ物事をポジティブに考えていけたらと思います。

毎回カルミアはこの想いを込めて利用者さんや園の良さを伝えていきます。是非これを読んだ方はそんな想いで読んでもらえたら幸いです。

これからもさやま園をよろしくお願ひいたします。こんな情勢ですが、みなさまも元気で過ごしてくださいね。

特別企画！

# 副園長NOTE

さやま園には二人の副園長がいます。  
今年度1号目のカルミア。  
せっかくなので副園長にも今思っていることを  
寄稿していただきました。

## あいさつと10数年前の話(私が来た頃はこんなでした!)



今年の4月から副園長になりました、古林 昇(ふるばやしのぼる)です。  
私は10数年前の東日本大震災の年にさやま園に came。当初は、震災の影響で新年度のグループ編成が年度初めにできないような状況で、余震もまだ多く誰もが不安と混乱の日々を過ごしていました。

そのような中で、大きな櫓(やぐら)を組んで踊りの先生を呼んだ夏祭り、開催時間前から地域のお客様が行列を作っていた合同さやま園祭、冷たい水で大根を洗った明野の大根掘り、利用者皆が舞台上がり劇や歌などの出し物で盛り上がったクリスマス会、臼をいくつも並べて餅つきをして筋肉痛になった新年会など、全ての内容が大規模で、準備や片付けは大変でしたが、今までにない達成感と充実感を感じたことを覚えています。

利用者が年を重ね、10数年前と行事の内容は変わりました。それでも利用者の安心安全な生活を中心に据えながら、ご家族、地域の皆様、職員皆が一つになる価値ある行事が少しでも早く復活し、潤いのある生活を送れると切に願っています。

コロナ禍で窮屈(きゅうくつ)な日々が続きますが、皆さまと力を合わせて精一杯頑張ります。よろしく願います。

古林

## 七夕行事

今年は急に暑くなり、例年よりも早く夏の到来を告げました。  
コロナ禍でマスクをしていても息苦しさをを感じる日々ですが、さやま園の利用者さんは元気いっばいに活動しています。

7月7日の七夕には、外からにぎやかな声が聞こえました。  
「からだがじょうぶでけんこうでいられますように」「コロナはやくなくなってください」「ハッピーなことがありますように」と思い思いの願い事を書いた短冊(たんざく)をうれしそうに飾る利用者さんの姿が見られました。  
楽しい時は思い切り楽しむ、そんな以前と変わらない大切な風景でした。

またみなさんの願い事を飾った笹の葉は小平市立第9小学校からいただきました。とても立派なもので地域とのつながりの大切さを改めて感じる機会となりました。

これからも人とのつながりを大切に利用者さんの想いを叶えられるような支援をしていきたいと思います。



柿木

## さやま園 新職員のご紹介

### NEWFACE

今年度もさやま園に新しい職員が仲間入りしました。  
グループごとにその個性豊かな顔ぶれをご紹介します。



えんどう まい  
遠藤 麻衣さん 生活支援員・所属：つくし

1. これまで沖縄県の社会福祉法人で障がい者支援を行ってきました。主にグループホームで働いていましたが、尊敬する上司より「入所施設での経験も大事だよ。」と話がありさやま園に入職しました。私が髪を切ったり、靴を新しくした際に利用者さんが「髪切った!」とすぐに気がつく観察力や利用者さんのふとした一言に心が洗われ仕事を続ける原動力になっています。
2. インドアなイメージを持たれるのですが、実はアウトドアで学生の頃からずっとスポーツをしています。最近はトレイルランに興味があります。やっている方がいたら教えてください。
3. 一生懸命がんばりますので、宜しくお願い致します。



こんの はるか  
昆野 晴夏さん 生活支援員・所属：つくし

1. 障がい児施設、就労支援施設など様々な施設での実習を経験した中で、障がいのある方がやりたいことを自由にやることのできない状況を何度か見てきました。それ以来、障がい者が安心して過ごせること、また楽しく過ごせることの手助け、支援をしたいと思ったためこの仕事を選びました。
2. 第一印象はチャラチャラしてそうと言われます…。ですが実際そんなことはありません。真面目です。休日でも家でダラダラしています。お酒も飲めないので飲みに行く事はありません。このイメージはいいのか悪いのか分かりませんが仕事中は笑顔で真面目に頑張ります!
3. 不安なことは山ほどありますが、自信をもって自分にできることを全力で取り組みたいと思います。



まきの  
槇野 なつめさん 生活支援員・所属：つくし

1. 母子支援を行いたく、東京都同胞援護会で就職活動を行いました。配属はさやま園と障がい者支援になり、経験もですが知識面でもまだまだ未熟者です。分からない事だらけですが、より良い支援ができるよう日々努力していきます。
2. 笑いのツボが浅いとよく言われます。
3. これから自分に出来る事を精一杯行い、支援員としても社会人としても成長したいと考えています。



やました まい  
山下 真衣さん 生活支援員・所属：つくし

1. 大学2年次に放課後等デイサービスでボランティア経験をしてから2年半程、障がい児支援に携わってきました。支援を必要としている方へ私自身が関わることでも少しでも毎日が楽しく過ごしやすい1日になるお手伝いをしたいと思ったのがきっかけです。大学では、国際英語学科に所属していたため福祉についてはまだ勉強不足ではありますが日々の支援を通して多くの事を学び利用者支援に繋げていきたいと考えています。
2. わたし、格拉って言われます…。自覚はあまりないのですが、言って頂けることが多くなりました。毎日、笑顔で笑うようには心がけています。
3. はじめまして。山下真衣と申します。  
趣味は狩野英孝のゲーム実況を見ることです。最近はネットフリックスで映画を見たり古着巡りにハマってます。まだまだ、未熟ではありますが毎日楽しく健康で利用者さんのみならず職員の方々との関わりを築いていきたいと考えております。  
常にニコニコしていると思うのでいつでも声を掛けてくれたら嬉しいです。  
これからよろしくお願ひいたします。

# ? 質問 Questions

1. どうしてこの仕事を選びましたか？
2. わたし、〇〇って言われます。
3. さやま園の皆さんに一言挨拶（自己紹介や抱負など）



ふじわら みつき  
富士原 光希さん 生活支援員・所属：かえで

1. 大学で福祉の勉強をしていて障がい領域に興味を持ったことがきっかけです。さやま園で実習やアルバイトを経験させていただき、さらに支援について理解したいと思ったからです！
2. 私、よく「明るい」って言われます!!これからも笑顔で明るさを続けていきたいです！
3. 皆さん、一緒に元気で明るく過ごしていきましょう!よろしくお祈りします!



かりの あゆみ  
狩野 歩さん 生活支援員・所属：あんず

1. 教員免許を取得しているということもあり当初は児童養護施設配属を希望しておりましたが、縁あってこちらの施設で働かせていただいています。大学では障がい者心理を学んだこともあり、心のケアについては長けている部分もあるのではないかと考えています。一方で介助という点では全くの素人なので先輩方の姿を見て勉強する毎日です。
2. 最近さやま園の職員の方々に「面白い」と言われることが多々あります。気さくな部分があるのでそう言っただけのことはすごく嬉しいです。何が面白い部分なのかは自分自身よくわかりませんが…。
3. 皆さんのできることを増やすために私にできる手助けは全力で行っていきます。一緒に楽しく生活していきましょう。



かむら ゆな  
嘉村 優菜さん 生活支援員・所属：すみれ

1. 実習やアルバイトを通して障がいのある方と関わるのが面白く感じました。
2. 素直だねと言われる。素直な所を活かし、お仕事に繋がれたらと思います。
3. 覚えることが苦手で時間がかかり、ご迷惑をかける部分が多々あると思いますが一生懸命頑張ります!先輩職員の方々が優しく丁寧に仕事を教えて下さり、頑張らなければいけないと感じます。障がいについての知識を増やし、利用者さんの立場に立った支援が出来る様頑張ります。よろしくお祈りいたします。



おのじま けい  
小野嶋 慶さん 生活支援員・所属：わかば

1. 元々高齢施設からスタートしました。人と人との関わりを身近に感じられる点に面白さを感じます。
2. 優しいって言われます。支援の中で時には厳しく伝えることもあるかと思いますが、優しさも伝えていければと思います。
3. さくらんぼより異動となりました。まだまだ分からない事ばかりで右往左往の毎日ですが、<sup>うおうさおう</sup>明るく前向きに仕事に取り組みたいと思っていますので、皆さま宜しくお願い致します。



はやし  
林 みどりさん 調理員

1. 前職と似た様な仕事だったからです。
2. 人見知り?と言われる。
3. 利用者さんたちの顔と名前を早く覚えるようにしたいです。



かわだ みちこ  
川田 路子さん 調理員

1. こんな私でも誰かの役に立てればと思い、この仕事を選びました。現実、とても大変な仕事で役に立てるのが不安になります。
2. 不器用って言われます。絡まった糸をほどく時などイライラしてしまう…
3. まだまだ覚える事も沢山でいっぱいいっぱいですが、がんばりますのでよろしくお願い致します!

ていでんがいしゅつ  
停電外出

「停電外出」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか。

さやま園では、年に一度 電気点検日が設けられています。  
日中電気が使えない！廊下や居室も真っ暗！調理場で食事を作ることもできないため、  
毎年、昼食と外出をセットに「停電外出の日」と呼ぶようになりました。  
コロナ前は「さあ、外出へいきましよう！」「ついでにカラオケやボーリングも！」なんて、日  
帰りイベント的な感じでした。残念ながらここ3年はコロナ禍で外出も制限中なので園内で楽し  
めるようデリバリーをして余暇ではレクや紙芝居・ミニゲームなど考え過ごしています。

ただこの日に限っては職員が大忙しなのです。（いつもと違う動きって意味でも面白いのです  
が・・・）電気が止まるって本当に不便・・・お風呂場にお水を張ったバケツを準備したり（トイレ  
用に貯水）、「これから一齐に電気が消えます」とアナウンスが流れるまでに休憩のお茶をつくっ  
たり、少しでも明るいところに！と園庭に出たりして。何よりもお昼に山ほど届くお弁当たちを、  
ひとりひとりの食形態に合わせて先輩たちが捌く様を後輩たちは一生懸命フォローします。腕が  
腱鞘炎になりそうなくらいがんばります。毎日楽しく美味しいメニューを用意して下さる調理員  
さんの凄さを感じる1日です。でも利用者さんはそんなイレギュラーな日常も楽しめる力を持っ  
ています。コロナ禍で制限される日常を楽しく過ごすためにはどうしたらいいのか、いまだ試行  
錯誤だったりもするのですが、早くみんな地域へ外出できるといいなと思う今日この頃です。



停電中、園庭でシャボン玉をして過ごしました。  
童心に帰ってみなさん、楽しそうでした。



楽しみにしていたデリバリー。わかばグループはお肉メインのメニュー  
でボリューム満点です！



# GALLERY

MIEKO ISHII exhibition  
展示会期 2022.6月～

さやま園の活動棟 奥の一角にそのギャラリーはあります。  
外部や地域の方々に向けて始めた展示会。

年に4回、利用者さんの個性あふれた作品展をこじんまりと  
ひっそりと開催しています。

今回は、石井三恵子さんのフェルトで作った作品展です。  
彼女はとっておちゃめな性格で人との関わりや細かい作業が  
とても好きです。

作品は、大きいものだと70×60cm、細かく切ったフェルトは  
一辺が0.7～1.5cmほどのものを無数に貼り付けてい  
ます。

中にはビーズや立体の玩具も隠れていたりします。

2年ほど前から作り始めたこれらの作品は、季節の風景や  
行事を題材にしたものが多く、それぞれにちゃんと題名が  
付けられています。

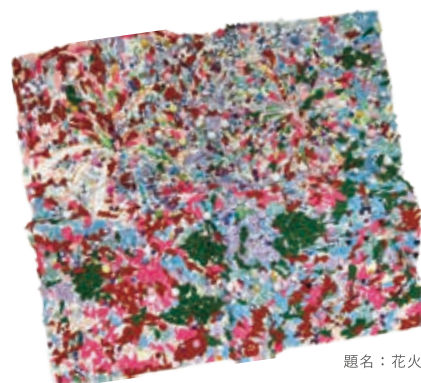
石井さんのバイタリティあふれる創作活動に、今後も目が  
離せません。



制作に励む石井さん



題名：クリスマス



題名：花火



ギャラリーの展示の様子

皆さんこんにちは！広報委員会のナギカワ（以下ナギ）です。暑い、暑過ぎます。  
さて、昨年度からスタートした職員インタビュー企画、今年度もゆる～くやっています。

どうかよろしくをお願いします。というわけで第四回のゲストは…

日中活動グループに所属の中村政志（以下、中村政）さんです。

## スタート ミー アップ！！

### ■日中活動グループについて

**ナギ**：第四回のゲストは、わかばグループから日中活動グループへ転属となった中村政志さんです。よろしくお願いします

**中村政**：はい、こちらこそ！

**ナギ**：中村さんは僕と同日入職の盟友でもあります。早速どうですか？わかばグループから日中活動へ配属が変わって。慣れてきました？

**中村政**：そうですね～、利用者との関り方が少し違うので、それに何とか合わせていってる感じですね。

**ナギ**：と、いうと？

**中村政**：日中活動の活動場所ごとの環境面の整備や今後の展開、そして活動中はより参加利用者全体を意識する必要もありますし。視点が変わったというか変える必要があるのです。

**ナギ**：なるほど！それとは別に新たな取り組みもされてますよね？



中村政志さん

### ■アグリ中村

**中村政**：日中活動の花壇<sup>かたん</sup>で野菜を作ってます！

**ナギ**：そう、それ！これまでも野菜を植えたりはあったと思うんですが、今年は何か様子が違うな、と。計画的にやってるんですか？

**中村政**：10種類くらいの野菜を季節ごとに作付けするようスケジュールを組んでます。

**ナギ**：おお！さすがアグリ中村（中村さんは前職が農業関連企業です。）！

**中村政**：農作物って、育てる・収穫する<sup>しゅうかく</sup>・食べるという楽しみがありますから、利用者さんと一緒にそれを分かち合えるといいと思っています。

**ナギ**：作付け予定の野菜のラインナップを教えてくださいよ！

**中村政**：それはですね…



かいわれ大根とスプラウト



ブロッコリーと茄子



おくら等

⇒続きは、さやま園 WEB サイト「<https://sayamaen.com>」にて掲載中です。  
または PC かスマホから「さやま園」で検索してみてください。

### 編集後記

さやま園の職員として2回目の夏を迎えました。

新入職員紹介の記事を書きながら、さやま園で働き始めた頃の自分を思い出しました。

先輩として様々なことを“教える”という立場になり、日々奮闘する中で、改めて自分が教えて頂いたこと、学びになったことが沢山ありました。「<sup>われいがいみなわかし</sup>我以外皆我師」とはこの事なのだと思いました。暑さが続きますが、水分・塩分補給を忘れずにご自愛ください。

広報委員 入口

